

# あじさい143号

## 育成会60周年記念講演会開催！

長崎市手をつなぐ育成会の創立60周年を記念し、全国手をつなぐ育成会連合会の久保厚子会長をお招きし、原爆資料館ホールにてご講演いただきました。本人、会員、職員合わせて200名ほどが集まりました。



## 育成会全国大会熊本大会開催！

熊本県熊本城ホールにて育成会全国大会が開催され全国より2300名が集まりました。長崎県から160名、市からは本人13名を含む35名が参加しました。



## 長崎市障害福祉懇談会開催

ハートセンターにて第51回長崎市障害福祉懇談会が開催され、長崎市心身障害者団体連合会より17団体が参加しました。谷理事長が本会から日中一時支援についての要望を直接市長に伝えられました。



## 南部地区グループホーム建設開始

12月より着工する南部地区グループホームの建設に先立ち、11月27日に現地の自治会長さんなどを招き、地鎮祭が行われました。

第43回施設職員球技技術研修大会開催  
10月19日、諫早のソフトボール場にて球技大会が開催され育成会もチームを作って参加しました。



## もくじ

- 育成会全国大会開催
- 福祉懇談会、60周年記念講演会 本人の意見を聴く会
- 60年を振り返る◎
- 育成会ing
- きらり
- お知らせ

# 育成会全国大会熊本大会が開催！



11月23、24日の2日間に渡り「一人ひとり認め合う社会の実現～熊本のこころを全国に～」を大会スローガンに掲げ、第6回全国手をつなぐ育成会全国大会熊本大会が開催され、長崎県より約160名が、長崎市育成会からは本人13名を含む35名が参加しました。会場となった熊本城ホールは12月1日がオープン予定となっており、ほとんど使われていない真新しい建物で気持ちよく過ごすことができました。2日目の全体会では記念講演に登壇された放送作

## 分科会

- ① 育つ・学ぶ「つながるを大切に」
- ② 働く「生涯学習と多様な働き方」
- ③ 暮らす「暮らしを支える仕組み」
- ④ 権利擁護「検証！本人の尊厳」
- ⑤ 地域育成会の活性化  
「育成会活動の活性化」

家、大学副学長、プロジェクトアドバイザーなど多方面で活躍されている天草出身の小山薫堂氏が「幸せの企画術」というテーマで話をされました。ご自身が熊本県のPRキャラクター「くまモン」の生みの親ということで、講演の最後にくまモンが登場すると会場からは大きな歓声が上がっていました。また、式典の中でこれまでの功績に対し当会の評議員相川勝代氏が全国大会会長表彰を、当会理事でグループホーム、いんくる管理者の長島志津代氏が九州大会会長表彰を受賞されました。

家、大学副学長、プロジェクトアドバイザーなど多方面で活躍されている天草出身の小山薫堂氏が「幸せの企画術」というテーマで話をされました。ご自身が熊本県のPRキャラクター「くまモン」の生みの親ということで、講演の最後にくまモンが登場すると会場からは大きな歓声が上がっていました。また、式典の中でこれまでの功績に対し当会の評議員相川勝代氏が全国大会会長表彰を、当会理事でグループホーム、いんくる管理者の長島志津代氏が九州大会会長表彰を受賞されました。

## 本人大会分科会

- ① みんなで話そう「楽しさ、仕事と余暇、悩み、同僚、夢、一般就労」
- ② みんなで話そう「災害、後見人生活の場」
- ③ みんなで話そう「恋愛、地域、余暇、芸能界など」
- ④ あなたもわたしも千両役  
山鹿・八千代座での表現活動  
思い出観光  
・恐竜博物館と熊本城  
・阿蘇猿回し劇場と阿蘇ミルク牧場

## 長崎市障害福祉懇談会が開催

11月20日(水)、長崎市障害福祉センターにて令和元年度第51回長崎市障害福祉懇談会が開催され、長崎市心身障害者団体連合会に所属する17団体が事前に提出した要望への回答を長崎市からいただきました。出席された田上市長は、担当の障害福祉課の課長、部長の答弁を補足されたり、率直な感想を述べられていました。今年度は最優先事項となるA項目が8件、文書回答のB項目は3件でした。

当会からはタイムケア事業の給付費の見直しと移動支援事業のグループ支援の支援内容の整備を要望しました。長崎市からは「タイムケア事業は障害福祉サービス等で対応できない部分を担う大事なサービスであると捉えているものの、現状として見直し等は難しい」、また移動支援事業のグループ支援については「利用者の安全確保を第一に考慮し、今後利用しやすい制度となるよう検討を重ねていきたい」との回答でした。また、他団体から「長崎市障害福祉センターの小児療育専門職（言語聴覚士・作業療法士）の充実」「新しいICカードへのハートセンターでの交通費助成の積み増し」などが要望されました。後半は、田上市長自ら令和4年に完成予定の新庁舎の概要を説明いただき、バリアフリーで市民に開かれた市庁舎を目指し、相談や申請だけでなく憩いの場としても利用出来そうな市庁舎の概要をお聞きして、今から完成が待ち遠しくなりました。

## 60周年記念講演会開催！

今年の育成会60周年アニバーサリーイヤーの締めくくりとして11月2日（土）原爆資料館ホールにて、全日本手をつなぐ育成会連合会の久保厚子会長をお招きし、記念講演会が開催されました。「60周年を迎えて～地域における育成会のこれからの進むべき道～」というテーマで、国の行政機関でもたくさんの委員を務められているご自身の経験と情報をもとにして制度の話や育成会の意義、現状、活動例など幅広いお話を伺うことができました。「会員の高齢化、役員のなり手がいないなど苦しいこともあるが、よいことを実践できる可能性を見つけだそう。」と話されました。

講演に先立ち、60周年を記念してお祝いメッセージの映像が披露され、参加した会員、本人、職員約200名が映像を楽しみ、館内はお祝いムードに包まれました。



## 本人の意見を聴く会開催！

10月30日（水）長崎県庁にて「障害者施策に関する意見を聴く会」が開催されました。これは年に1度開催されており、今年は島原市、諫早市、西海市育成会の代表4名が意見を発表し、その後県育成会本人部会「長崎きずな」より事前に提出されていた要望について口頭と文書で回答をいただきました。要望の中には就労の場の確保や社会への障害理解、工賃アップ、福祉サービスなど多岐にわたる要望があげられましたが、ひとつひとつ丁寧に分かりやすい文章で答えをいただきました。長崎市本人部会 FICS からは進行役として山崎良さんが参加され、緊張しながらも立派に司会進行を務められました。



## 育成会ボウリング大会開催！

11月4日（月・祝）、育成会会員、本人32名が参加し、大橋町ラッキーボウルにて恒例の育成会ボウリング大会が開催されました。待ちきれない様子で早々に集まったみなさんはそれぞれのレーンでプレイを楽しめました。終了後は参加者全員に参加賞が配られ、上位3名はもちろん、7位、真ん中、10位、20位、30位、ブービーの人たちが表彰され、賞品をゲットしていました。来年も開催しますのでぜひご参加ください！



今年の優勝は山口大惺さん、2位は宮坂友基さん、3位は池田光さんでした。おめでとう！！

# 育成会は60周年!

60年を  
振り返る⑥

1年を通して育成会の60年を振り返る企画をお送りしてきました。最後となる今回は会員の60年を振り返るということで長く育成会会員、常務理事、そして理事長として尽力しておられる谷美絵さんと会員、ハートセンター事務局庶務として尽力して来られた森田幸子さんにお話を伺いました。

法人設立準備委員会のころ

社会福祉法人長崎市手をつなぐ育成会 理事長 谷 美絵

平成2年、当時の長崎市育成会は今のアマランスがまだ長崎市障害福祉センターで、その1階の団体活動室の2つの机を育成会事務局として活動をしていた。もちろん昭和53年からスタートしていた作業所は西浦上支所や福祉センターで活動していたが、センター事務局は今のような育成会の本部という態ではなかった。ガリ版刷りで便りを作り、手書きで会員さんへの郵便物の宛名を書いていたことも今は懐かしい思い出となっている。

私が昭和63年入会当時は、事務局にはいつも山内事務局長がおられ、現職と育成会活動に奔走されていた田川会長とは時々お会いしていた。(会長はそのくらいお忙しかった)山内事務局長が申し訳ないような条件で事務局長を務めておられたこともあり、私も時々事務作業のお手伝いをしていた。そういうつながりもあり、ある日田川会長から法人開設の準備委員会を立ち上げるから、若手のお母さんにも入って欲しいと要請があった。法人の何たるかもわからないまま、ただ特別支援学校の小学部に入學した息子のためにもっと勉強しなくてはという親としての思いから2つ返事で承諾したように記憶している。実際、集まりを始めてから法人というのは社会福祉法人で、社会福祉法人とは福祉事業をする法人で、福祉事業にもいろいろあって、知的障害者の福祉施設開設を目指していることが分かってきた。週に1度ほぼ毎週、重要な施設の内容のことからカーテンの色まで準備委員会で話し合い、あとは行政への陳情、施設の土地探し、建設費の工面等々一生懸命みんなでよく働いた。

平成6年9月、足掛け5年かかって長崎市育成会は社会福祉法人格を取得したが、その間資金集めとパソコンもない時代、申請書類の作成等を昼夜問わず手掛けられていた山内先生のご苦勞は感謝に堪えない。

寄付のことで思い出したこと、市内でとても有名な大きな企業に何軒か寄付のお願いに行った。しかし任意の親の会など歯牙にもかけられず門前払い。法人格があったならこんな目に合わずに済むと一層法人化への意識が高まったものだった。そんな時一番力になってくださったのはやはり会員さんで、優しいおじいちゃんと感じていた先輩が法人化の意義を田川会長たちと熱く語り、多額の寄付もして下さったりと、知的障害者のための地域福祉の実現に対する決意を知り、あたらためて先輩たちへの尊敬の念を強く感じたことであった。

育成会は60年経って、平成の初めの法人設立のメンバーも法人に残るのは私一人となってしまった。次の時代がもうそこまで来ているのは間違いない。時は移ろい人も社会も変わるのは当然で、当時苦しみや悲しみを乗り越えた先輩たちの強い意思が今の長崎市育成会の盤石な礎となっていることに改めて感謝し、会員皆さまと共に、次に世代へ確実につないでいくよう、これからもしっかりと努めていきたいと思う。

森田 幸子（夢工房みどり保護者）

障害のある子を授かり、立つこともできないわが子のために手当たり次第にいろんなところを訪ねてまわり、家でも必死にリハビリをしました。あるとき育成会を紹介され入会し、育成会の行事に参加するのが楽しみでした。当時は障害のある子どもが通うところもなく、田川会長（当時）や数人の親と、障害のある子を背負って県庁を訪ね知事に陳情しました。わが子には間に合いませんでしたが、その甲斐あって、さくらんぼ園ができました。小学校入学の年になると、「就学を猶予したほうがいいのでは…」という入学を受け入れてもらえない思いやりのない言葉に悲しい思いをしました。小学校には行けず、代わりに障害児を受け入れていた私立の幼稚園の年長に通いながら言葉の教室などに通い、いろんなことに挑戦させました。次の年も猶予と言われましたが、強く小学校への入学を訴え、1年遅れて小学校に入学しました。

中学を卒業すると行くところもなく、あじさい作業所を紹介してもらいましたが、当時は通所するためにはどんなことができるか確認するために実技試験のようなものがありました。「この子はなんにもできません。毎日付き添ってもらえるなら受け入れることができます。」と言われ、親子で通いました。その後も親子で通う人や親のボランティアもいて、親同士でおしゃべりしながらの作業も楽しみとなりました。しかし行き場のない人は多く、何の制度もなかったため、「こういう子どもを家に置いておくのですか！」と陳情したり、いいと思ったことは何でもしました。

現在のアマランスに障害者団体の活動拠点を置いてもらえるようになったときには、当時できたばかりの公会堂を「障害者に歩いてほしくない。」と言われたり、障害者同士でも知的障害は下に見られ差別されることもあり、「この子たちのやさしさが分からないのか」とくやしく悲しい思いをしました。

育成会の理事を経て、庶務として当時ハートセンター事務局をされていた山内先生の手伝いもさせていただき、たくさんの会員さんと出会い、様々な経験をしました。今思うのは「育成会がなかったら、自分は笑って話せるような状態ではなかっただろう。」ということです。いろんな苦労がありまし

戦後長らく続いた措置制度と呼ばれる行政がその人の状況を判断して措置命令を下すという本人に選択の余地がなかった時代から、サービス利用者がサービス提供者と対等な立場で契約するという画期的な支援費制度（H15 施行）の時代を経て、現在は障害者のサービスを一元化した自立支援法（H18 施行）の時代となりました。制度を見てもこの60年で大きく変わっています。今や自己選択、自己決定、意思決定支援など本人の思いを大事にすることが当たり前前の時代になりました。



育成会の60年には、その時々には会員たちの苦労がありました。私たちが今当たり前のように利用している障害福祉サービスも、何もないところから一つひとつ創り上げてくれた先人たちの障害のあるわが子の幸せを願う強い想いの賜物です。60周年記念講演会で久保会長は「各地での育成会の厳しい現状はあるが、これまで育成会がしてきたことはたくさんの人の役に立ってきた。出会いやつながりが財産になる」「みんなでみる夢は実現できる」と言われていました。障害福祉サービスが充実し、情報も簡単に手に入る時代になりましたが、障害のある子を育てる苦労がなくなったわけではありません。これからも次の10年、20年に向けてみんなが手を取り合って、偏見や差別のない社会、本人や家族が地域で安心して幸せに暮らせる社会を創っていきましょう。

育成会 ing

# 南部地区グループホーム建設が始まります！

今年度の総会でも要望が上がった長崎南部のグループホーム建設ですが、南部にお住いの方々にとっては長年の悲願ともいえる、長崎市手をつなぐ育成会 12 棟目となるグループホームの建設が12月よりいよいよ始まります。11月27日には香焼町連合自治会長、香焼深浦自治会長もお迎えし、地鎮祭が執り行われました。



- \* 建設場所：長崎市香焼町字田ノ浦 494 番 7
- \* 敷地面積：370.03 m<sup>2</sup>
- \* 延床面積：419.78 m<sup>2</sup>（1階 209.11 m<sup>2</sup>、2階 210.67 m<sup>2</sup>）
- \* 入居定員：グループホーム 10 名、短期入所 4 名

## ＜開所までのスケジュール予定＞

- 令和元年 11 月 27 日…地鎮祭
- 令和元年 12 月 3 日…工事着工
- 令和 2 年 1 月 25 日…**南部地区グループホーム**  
**説明会**
- 令和 2 年 5 月 8 日…工事完了
- 令和 2 年 5 月 11 日～…入居準備
- 令和 2 年 6 月 1 日…開所



## 南部地区グループホーム説明会

- \* 日 時：令和 2 年 1 月 25 日(土) 10 時～
  - \* 場 所：もりまちハートセンター2階研修室（長崎市茂里町 2-41）
  - \* 対象者：入居希望者及び興味のある方
  - \* 内 容：サービス内容等の説明及び入居希望申請書の配布 他
- ※説明会への参加を希望される方は、陽香里工房までご連絡ください
- 陽香里工房：Tel 095-871-0130 山田、松尾  
締め切り…1月11日(土)まで

## き ら り

今回は「長崎県障害者雇用支援のつどい」にて優秀勤労障害者として表彰された谷口央(ちか)さん(琴海支部)と第6回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会熊本大会の本人大会にて発表をされた石川勝則さん(夢工房みどり)のお二人にお話を伺いました。



谷口央さんは老人ホーム「ケアハウス横尾」に勤務し、朝9時から夕方16時まで、共有スペースや、食堂、廊下、風呂などの清掃を中心に13年間務められていることが認められ優秀勤労障害者として表彰されました。

賞を頂いて嬉しかったです。

仕事は楽しくて、大変だと思ったことはないです。仕事をしていて、うれしかったことは、利用者の方から「仕事頑張ってるね。」と声をかけてもらったり、職員の人たちに、「央ちゃんがいてくれて助かった。」と声かけしてもらうことと、お給料をもらえることです。夢は、甥、姪たちを、ディズニーランドに連れて遊びに行くことです。

これからも、健康で笑顔を絶やさず、職場方や利用者のかたがたに必要とされ、1日でも長く働いてほしいと思っています。(母より)

夢工房みどりの石川勝則さんは今年の全国大会本人大会の第3分科会で県の代表として堂々と意見発表をされました。自分の夢として「大好きな妹が幸せになること」「好きな人と結婚してお父さんと今の家で暮らすこと」「本人活動で力をつけ仲間の悩みを聞いたり届けること」と語られ、「障害があってもあきらめず挑戦していきたい」と結ばれ、会場から大きな拍手をもらい嬉しそうでした。



「みんなで知る見るプログラム」に参加して、自分もみんなの前で話してみたいと思い、代表に決まったときは嬉しかったです。知らない人の前で話すのは少しだけ緊張したけど、話をするのは楽しかったし、みんなに拍手をもらって嬉しかったです。これからもどんどん自分の意見を言う場に出ていきたいです。

以前はあまり積極的に話されるタイプではなかったですが、みどりで本人活動や「知る見るプログラム」を通じてすごく変わって来られました。全国大会でも話してみたいと言われ、「人の悩みを聞いて伝える人になりたい」と言われたのを聞いて驚きました。いろんな体験から自信を持たれたようで頼もしいです。

(夢工房みどり支援者 山口さんより)

# おしらせ

## 書道

日時:第4土曜日 時間:午後1時~  
**12月はお休みとさせていただきます。**  
 場所:ハートセンター社会適応訓練室  
 会費:1回 500円



## フラワーアレンジメント

日時:第2・第4土曜日 午前10:30~ ※12/28はお正月のお花のため¥2000  
 場所:ハートセンター5F 社会適応訓練室 ※令和2年1/11はお休みとなります  
 会費:1回1300円

## おたのしみ倶楽部

日時:12月15日(日)13時~15時 日時:1月19日(日)13時~15時  
 内容:クリスマスケーキ作り 内容:ココウォークに行こう  
 \*12月は参加費300円に加えて材料代も併せて請求させていただきます。  
 \*人数把握のために必ずお申し込みをお願いします。お申し込み・お問い合わせは  
 ハートセンター事務局まで。 ☎:847-1290  
 ※計画は変更されることがありますので確認をしてから参加してください。

## 定例会

日時:12月20日(金)10時~12時 育成会生活支援センター会議室(大橋町)  
 「こんなときどうしてる?考えてみようわが子の障害特性(感覚過敏と感覚鈍麻)」

# 新年親子の集い&新年会

新年恒例の「新年親子の集い」と「新年会」が今年も開催されます。新年親子の集いでは  
 楽しい出し物やお楽しみ抽選会がありますよ~。

### 新年親子の集い

と き:令和2年1月11日(土)13:00~16:20 ところ:ハートセンター3F 体育室

### 新年会

と き:令和2年1月11日(土)18:00~20:00 ところ:ルークフラザホテル  
 会 費:6,000円 ●送迎もあります

新年会のお申し込みは12月17日(火)までにハートセンター事務局☎847-1290  
 またはタイムケア事務局☎845-5677まで